

平成 14 年度 第 2 回常任委員会 議事録

日時：平成 14 年 6 月 18 日（火）16：00～19：10

場所：つくば国際会議場 304 号室

出席者：魚本委員長，睦好幹事長，井上，宇治，大内，島，中村の各幹事，石橋（代理：吉田），上田（代理：佐藤），大津，岡沢，河野，國府，坂井，堺，佐藤（代理：河合），鈴木，竹田（代理：日紫喜），武若，辻，前川，松岡（代理：坂本），丸山，宮川，宮本（代理：堤），山崎，渡辺の各委員

配布資料：

- 2-0 平成 14 年度 コンクリート委員会 第 2 回常任委員会 議事次第
- 2-1 平成 14 年度 第 1 回常任委員会 議事録（案）
- 2-2 『アルカリ骨材反応抑制対策改正案（国土交通省）』に対するコンクリート委員会委員の意見要旨
 - 2-3-1 規準関連小委員会より
 - 2-3-2 平成 14 年度 JIS 制定・改訂の動き
- 2-4 平成 14 年度コンクリート委員会会計状況（6 月 17 日現在）
 - 2-5-1 土木学会コンクリート委員会規準関連小委員会
 - 2-5-2 同上 コンクリートの塩化物イオン拡散係数試験方法作成作業部会および引張軟化特性試験方法作成作業部会
 - 2-5-3 土木学会コンクリート委員会第 種委員会微量成分溶出に関する調査研究小委員会委員構成
 - 2-5-4 コンクリート委員会弾性波法の非破壊検査（326）小委員会
- 2-6 教育研究小委員会活動方針（案）
- 2-7 コンクリート委員会に係る示方書・指針関係の英文出版物リスト
- 2-8 2002 年度版標準示方書印税配分の方法（提案）
- 2-9 コンクリート標準示方書「耐震性能照査編」（第 2 回常任委員会提出）に関する意見回答書
- 2-10 第 2 回コンクリート構造物の補修，補強，アップグレードシンポジウム
- 2-11 「水辺のコンクリート構造物研究小委員会」委員会報告とシンポジウム開催のご案内
- 2-12 Journal of Advanced Concrete Technology パンフレット
- 2-13 エポキシ樹脂塗装鉄筋を用いる鉄筋コンクリートの設計施工指針改訂小委員会

議事

1．委員長挨拶

魚本委員長から開催に際して挨拶があり，本日は耐震性能照査編の内容に関する最終審議となる旨の発言があった。

2．前回議事録の確認

大内幹事より，資料 2-1 に基づき，平成 14 年度第 1 回常任委員会議事録（案）の確認が行われ，特に異議なく承認された。

3. 報告事項

(1) アル骨対策改正案（国交省）に対する意見報告

最初に、河野委員より今回改正案を出すことになった経緯、現時点での議論の内容、今後の対応等についての説明がなされた。JIS 5308 の改訂委員会や JCI の懇談会で審議しているが、建築は無害でないと判断された骨材を使用しないとする方向であるのに対し、土木はこれらに対してもアルカリ総量規制や混合セメントの使用で対応する方向であり、議論が平行状態であるとのことであった。

次に、宇治幹事より、資料 2-2 に基づき、コンクリート委員会委員から出された意見の概略説明がなされた。河野委員によれば、これらの意見と同様の意見が数多く提出されており、既にかんりの部分が入り入れられているとのことであったが、JCI の懇談会が近々行われるので、さらに意見がある場合は河野委員に直接提出することとなった。なお、魚本委員長より、示方書の内容と齟齬が出る可能性があるため、コンクリート委員会としての見解をアナウンスしておく必要があり、コンクリート委員会で検討することを承諾しておいて欲しい旨の発言があった。その検討は維持管理編作業部会で行うこととなった。

(2) 生コン JIS 改正原案に対する意見報告

宇治幹事より資料 2-3-1 に基づき、生コン JIS 改正原案に対して規準関連小委員会から提出された意見が紹介された。これらの意見は既に山本委員を通じて報告していただいているが、さらに意見がある場合は、早い時期であれば反映できるので、期限を 6 月 24 日、7 月 20 日、8 月 20 日の 3 回に区切って宇治幹事まで提出し、それらをまとめて、山本委員へ送ることとした。なお、その際、意見等は常任委員会内に回覧して欲しい旨要望がなされた。

次に、国府委員より、資料 2-3-2 に基づき、平成 14 年度の JIS 制定・改訂の動きが紹介された。資料のリスト以外に人工軽量骨材に関しても現在見直しが行われているとのことであり、これらの情報は随時流すようにするとのことであった。

(3) 第 種、種委員会活動報告

各委員会からの報告に先立ち、睦好幹事長より、有効な予算執行のために各委員会からの現状を報告していただきたい旨の発言があった。

a) 示方書改訂小委員会

前川委員より、全体で 2 回実施予定であり、耐震性能照査編の審議で既に 1 回開催した旨報告があった。あとは、各部会で 1 回程度、将来に向けての問題点の整理およびとりまとめを実施し、その後全体委員会を開催する予定であるとのことであった。

b) 耐震設計編改訂作業部会

丸山委員より、本日最終案を提出していること、今後は全体部会を 1 回、主査幹事会を数回実施し、11～12 月にかけて講習会を行う予定であることが報告された。

c) 示方書英訳小委員会

佐藤氏（上田委員代理）より、第 1 回目の委員会を 7 月 10 日に行うこと、また、調整幹事の MISRA 氏は 7 月中旬に来日予定であることが報告された。

d) 耐久性データベースフォーマット作成小委員会

鈴木委員より、コンクリートライブラリーの名前を「コンクリートの耐久性に関する研究の現状とデータベース構築のためのフォーマットの提案」としたこと、12 月 5 日に成果報告とシンポジウムを開催予定であることが報告された。

e) 微量成分溶出に関する調査研究小委員会

坂井委員より、既に委員会を3回実施し、成果をコンクリートライブラリーにまとめる方向で作業中であること、六価クロムを主とした検討を行っていることが報告された。

f) エポキシ樹脂塗装鉄筋を用いる鉄筋コンクリートの設計施工指針改訂小委員会

武若委員より、資料 2-13 に基づき、6月10日に第1回目の委員会を開催したこと、3つの作業部会を設け検討していることが報告された。

g) 規準関連小委員会

宇治幹事より、「示方書改訂小委員会規準編改訂作業部会」を「規準関連小委員会」に名称変更して1年間延長していること、資料 2-5-2 に示す2つの部会（コンクリートの塩化物イオン拡散係数試験方法作成作業部会および引張軟化特性試験方法作成作業部会）を設け検討していることが報告された。なお、必要と考えられる規準について各委員から意見があれば随時いただきたいとのことであった。

h) 英文コンクリートライブラリー編集小委員会

前川委員より、6月分から電子化を実施しており、いずれはコンクリート委員会のホームページに掲載することを考えているとの報告がなされた。

i) 土木実験指導書編集小委員会

辻委員より、示方書規準編の改訂に伴う内容のチェックのために2回程度の委員会を予定している旨報告がなされた。

j) 国際関連小委員会

二羽委員（睦好幹事長代読）より、ISOからの意見照会に対応するのが主な作業であるが、現在まで特に活動はしていない旨報告がなされた。

k) 電気炉酸化スラグ骨材コンクリート研究小委員会

国府委員より、現在指針（案）の作成に向け作業中であり、早ければ10月中に案を常任委員会に提出する旨報告された。

l) 電力施設解体コンクリート利用検討小委員会

辻委員より、RCまで使用することを目的として、現在データを収集中であることが報告された。なお、魚本委員長より、ライブラリーの出版については出版事業課とよく相談するようとの意見が出された。

(4) 予算執行情況

睦好幹事長より、資料 2-4 に基づき6月17日時点での予算執行状況が報告された。その際、堺委員より、年次大会の研究討論会での部外者の旅費を考えて欲しい旨要請がなされたが、既に考慮しているとのことで、詳細を睦好幹事長に提出することになった。

(5) その他

a) 示方書講習会の OHP 貸出について

辻委員より、JCI コンクリート技士研修会に示方書講習会で使用した OHP（パワーポイント）を250枚程度使用させてほしい旨の要望が出された。具体的には、4年間の使用で50万円（1枚2000円）で貸していただき、その代金は寄付という形を取りコンクリート委員会で使用できるようにするとのことであった。

これに関連し、前川委員より、作成した部会に問い合わせたところ基本的に公表は OK ということであり、ホームページ上で PDF ファイルとして閲覧できる（加工はできない）ようにすることは可能であるという意見があった。また、丸山委員より、料金を取る制度をきちんと決めてお

くべきであるとの意見が出され、これらについては幹事会で検討することとなった。

b) 技術者資格制度について

渡辺委員より、本年より特別上級技術者に加えて上級技術者についての試験を実施することになり、6月中が申込期間であること、全国8支部で試験を実施予定であること、来年度から1,2級をスタートさせる予定であることが報告された。

4. 審議事項

(1)各小委員会委員の構成、交替、追加

a) 規準関連小委員会

宇治幹事より、資料2-5-1,2-5-2に基づき全体委員会の委員構成、各部会の委員構成が説明され、承認された。

b) 微量成分溶出に関する調査研究小委員会

坂井委員より、資料2-5-3に基づき委員の追加および変更の説明があり、承認された。

c) 弾性波法の非破壊検査(326)小委員会

大津委員より、資料2-5-4に基づき委員構成が説明された。なお、資料中の北園氏(安部工業所)は削除していただきたい旨の説明があり、それを含め承認された。

d) エポキシ樹脂塗装鉄筋を用いる鉄筋コンクリートの設計施工指針改訂小委員会

武若委員より、資料2-13に基づき前回の資料から鈴木氏を削除した旨説明があり、承認された。

(2) 新設委員会の提案

資料2-6に基づいて、大内幹事から教育研究小委員会の活動方針(案)が説明され、基本的に承認された。委員構成を次回の常任委員会に提出し、承認を受けることとなった。また、委員として参加したい人あるいは推薦者がある場合は福手委員へ連絡することとなった。なお、魚本委員長より少し早めに活動を開始して欲しい旨要望が出された。

(3) これまでの英文指針のCD化

中村幹事より、コンクリート委員会に関連する示方書・指針関係の英文出版物リスト(資料2-7)が紹介され、1990年以降10年分程度をCD化し、今年のfib2002等で紹介してはどうかという提案があり、CD化については承認された。具体的な出版方法についていくつかの意見が出されたが、出版委員会と連絡を取り合って、費用やその形態等について幹事会でさらに検討することとなった。

(4) 2002年版標準示方書印税配分の方法

前川委員より、資料2-8に基づいて、2002年版標準示方書印税配分の方法が提案された。提案された内容は特に異議はなく、提案通り承認された。

(5) 技術シリーズのCD-ROMでの出版について

島幹事より、311委員会で技術シリーズをCD-ROMのみで発行することを考えているが、その可否について審議願いたい旨提案があった。いくつかの意見が出されたが、幹事会で検討の上、次回の常任委員会で審議することとなった。

(6) 耐震性能照査編の審議

丸山委員より、事前配布されていた耐震性能照査編(案)の内容について、前回案より大きく変更した箇所を重点的に説明がなされた。また、同時に照査例の内容やライブラリーの目次についても簡単な説明がなされた。

特別上級技術者に関する記述については、もう少し本質的な部分を判断できるような記述の仕

方を考えた方がよいのではないかという意見が出された。

今回の案に対する意見を、資料 2-9 の意見回答書により 6 月末までに事務局へ提出することとなった。また、7 月末締切を目処にこの案を外部に対して意見照会することとする。なお、講習会は 12 月 12 日（木）東京で開催予定とし、大阪については今後検討することとなった。

(7) その他

a) 宮川委員より、「第 2 回コンクリート構造物の補修、補強、アップグレードシンポジウム」(資料 2-10) の紹介がなされた。

b) 大内幹事より、「水辺のコンクリート構造物研究小委員会 委員会報告とシンポジウム」(資料 2-11) の紹介がなされた。定員 150 名に対し現在 70 名程度の申込者数であるとのことであった。

c) 睦好幹事長より、「Journal of Advanced Concrete Technology」(資料 2-12) 発刊のアナウンスがなされた。

5. 次回

9 月 24 日（火） 札幌

コンクリート委員会 / 第 3 回常任委員会： 15:00 ~ 18:00

懇親会： 18:30 ~